

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年12月02日

計画の名称	主要渋滞箇所対策におけるICアクセス道路等の整備												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	さいたま市												
計画の目標	幹線道路や高速道路のICアクセスを軸とした体系的な道路網の整備により、広域的な地域の連携強化および交通の円滑化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	13,359	A	13,270	B	0	C	89	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.66	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	・市内主要幹線道路と接続する高速道路等のインターチェンジまでのアクセス時間が10分未満のエリアの面積を増やす。 市内主要幹線道路と接続する高速道路等のインターチェンジまでのアクセス時間が10分未満の面積の伸び率 {整備完了時におけるアクセス時間が10分未満の面積/(未整備時におけるアクセス時間が10分未満の面積) - 1} × 100	0%	1%	5%
2	・市内主要渋滞箇所89箇所のうち、整備効果発現想定箇所(9箇所)における渋滞を緩和する。 主要渋滞箇所(9箇所)における渋滞の緩和率 {1 - 整備完了時における主要渋滞箇所における最大渋滞長の平均/(未整備時における主要渋滞箇所における最大渋滞長の平均)} × 100	0%	3%	10%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	国道	改築	(国)463号越谷～浦和バイパス	7.9km ランプ1.2km	緑区	■	■	■	■	■	1,319		—	
	A01-002	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	都道府県道	改築	(主)さいたま鴻巣線・桜区南元宿	0.4km バイパス整備	桜区	■	■	■	■	■	465		—	
	A01-003	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	国道	改築	(国)122号蓮田～岩槻バイパス	4.1kmバイパス整備・0.7km環状施設帯整備	さいたま市	■	■	■	■	■	2,180		—	
A01-004	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	産業道路(天沼工区)	0.7km バイパス整備	大宮区		■	■	■	■	806		—		
A01-005	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	道場三室線(2工区)	1.1km バイパス整備	桜区・中央区		■	■	■	■	2,030		—		
A01-006	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	南大通東線(天沼工区)	0.2km バイパス整備	大宮区		■	■	■	■	1,058		—		

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
道路事業	A01-007	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	産業道路 (天沼2工区)	0.5km	バイパス整備	大宮区		■	■	■	■	5,412		—
												小計						13,270		
												合計						13,270		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	雨水貯留施設（産業道路 天沼工区）	雨水貯留 V=690m3	大宮区		■	■			41		—	
		街路事業と一体的に雨水抑制施設を設置し、浸水被害や道路冠水など都市型水害の軽減を図り、広域的な地域の連携強化および交通の円滑化を確保する。																		
	C01-002	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	雨水貯留施設（道場三室 線 2工区）	雨水貯留 V=500m3	桜区・中央区		■	■			48		—	
		街路事業と一体的に雨水抑制施設を設置し、浸水被害や道路冠水など都市型水害の軽減を図り、広域的な地域の連携強化および交通の円滑化を確保する。																		
											小計						89			
											合計						89			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

さいたま市公共事業評価審議会

事後評価の実施時期

令和2年11月

公表の方法

さいたま市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

整備計画期間中に完了した要素事業はないが、整備計画の要素事業以外の路線として、大谷場高木線（道場工区）等が同期間中に完了しており、指標①の高速ICへのアクセス面積については拡大効果が発現している。一方で、指標②の主要渋滞箇所（9箇所）の渋滞長については悪化している状況にある。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

本計画の事業箇所（7箇所）については、用地取得の遅れにより、計画期間内に事業を完了することができなかった。完了していない事業箇所については次期整備計画に位置付け、継続して橋梁工事やトンネル工事といった大規模工事等を推進し、高速道路ICへのアクセス圏域の拡大、広域的な連携強化による地域間交流の拡大、及び、市内の主要渋滞箇所における渋滞緩和を目指し、成果目標の達成を実現していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	5%
	最終実績値	3%
市内主要幹線道路と接続する高速道路等のインターチェンジまでのアクセス時間が10分未満の伸び率		
用地取得の遅れにより、整備計画期間内に完成した事業箇所はないが、同期間内に完成した周辺路線の効果により、目標値の約6割を達成している。今後、事業箇所の整備促進によりさらなる効果の発現が期待される。		
2	最終目標値	10%
	最終実績値	-24%
主要渋滞箇所（9箇所）における渋滞の緩和率		
用地取得の遅れにより、整備計画期間内に完成した事業箇所がなく、評価した主要渋滞箇所（9箇所）については、事業箇所の完成の影響が大きいことから効果がみられない。（※渋滞長調査の事後調査結果については、新型コロナウイルスの影響により、特殊な状況下で実施しているため、平常時と異なる可能性がある。）		

参考図面

